

市政、ここが知りたい!

一般質問 (要旨)

12月定例会では、次の24人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人の議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の()内は、主な所管課です。



二十一年度補正予算執行停止による本市への影響について

松本 富男 議員

問 二十一年度補正予算の見直しは、本市に与える影響について、伺いたい。

答 厚生労働大臣から通知があった「子育て応援特別手当」の執行停止に伴い、「わがまち子育て応援手当」は、国の手当を補完するための手当であることから、取りやめることとした。小中学校の地上デジタル対応チューナーの購入およびアンテナ設置工事に対する補助金の執行停止については、本体である地上デジタルテレビの購入に対する補助金の内示があったことから、デジタル放送の受信に支障がないよう停止された補助額五十三万七千円を一般財源で対応することとした。(財政課)

○その他の質問項目
「内部統制について」ほか
熊谷スポーツ文化公園における調節池の活用について

問 三浦 和一 議員
①調節池に入り込むこととは、どのような違反になるのか②周辺で警察が急

に厳しく取り締まるようになった理由③調節池を現状のまままで市民の魚釣りなどの遊び場として、開放できないか④調節池の周りに、公園の一部として桜などの木を植えることはできないのか、それぞれ伺いたい。

答 ①正当な理由なく立ち入りした場合、軽犯罪法違反となり、拘留や科料の対象となる。②日常の巡回パトロールなどにおいて違法行為を発見した際、適切に対処したものと考えている。③事故等の場合、自己責任だけでなく、管理者の責任も問われることになり、開放は困難とのことである。④植樹等による新たな空間利用は考えていないとのことである。(河川課)

○その他の質問項目
「青少年に広がる薬物汚染の現状と対策について」ほか
学校教育と新型インフルエンザについて

問 新井 清次 議員
①小中学校の学級閉鎖の状況②学級閉鎖による授業時間の減少に伴う補習授業の対応について、それぞれ伺いたい。

答 ①学級閉鎖による欠けた授業時間数は、市内小中学校の合計で、六月から八月までの三カ月間は無く、九月は二百四十二時間、十月は二千八百九十時間、十一月から十二月一日現在で、三千七百二十時間で、合計六千八百五十二時間である。②学級閉鎖への対応については、一日五時間のところを六時間授業を減らして教科の授業を行ったり、冬休みに授業を行ったりして、標準授業時数を確保するようにしている。現在、小中学校あわせて四千六十二時間の授業が確保される予定である。なお、インフルエンザにかかって欠席した児童生徒には、放課後などを使い、個別に対応している。(保健体育課)

大きな政治変化に伴う本市の財政状況について

杉田 茂実 議員
問 ①国政の与える本市への具体的な影響について②自主財源創出につながる具体的施策はあるか③基金のあり方や活用方法は④予算編成過程における新規事業の取り扱い⑤都市経営の視点を予

算編成にどう生かせるかについて、それぞれ伺いたい。

答 ①一部、事業を取りやめることとし、今定例会において減額の予算を計上した。②今後も、自主財源の創出について可能性を検討していく。③基金については、特定の目的のため、積み立て、活用している。今後も、基金の活用により安定した財政運営が図られるよう努力をしていく。④担当課が作成する実施計画を検討し、採択された事業については財政状況を勘案したうえで、予算化する。⑤分権型社会にふさわしい自立的な財政運営に努めていく。(財政課)

○その他の質問項目
「平成二十年度実施の農業実態調査結果とその活用について」
本市における予防行政について

黒澤 三千夫 議員
問 最近、全国各地において、居酒屋やマージャン店などの火災が発生し、多くの尊い命が失われているが、①査察実施状況②居酒屋の状況③マージャン店等の火災防止対策について、それぞれ伺いたい。